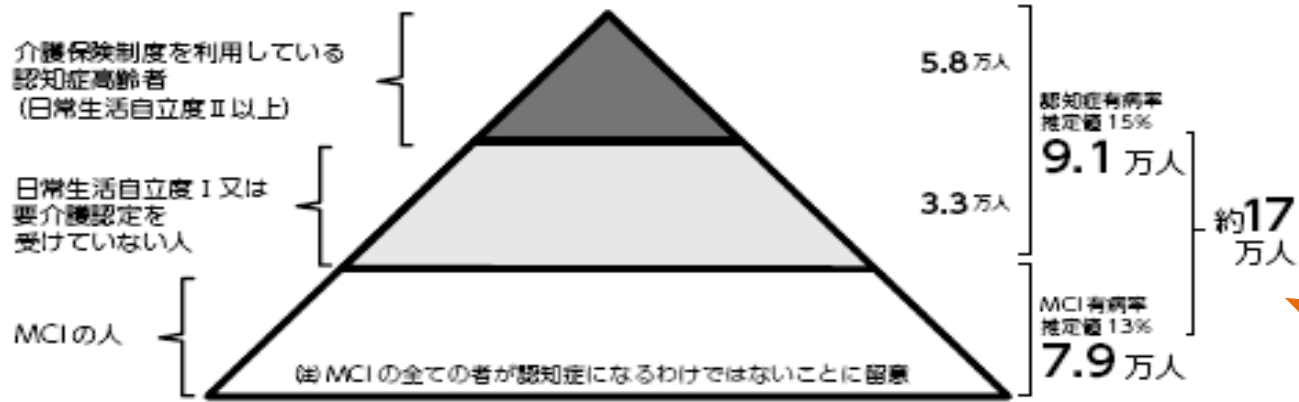


認知症高齢者の増加

■京都府における認知症高齢者の推計値（厚生労働省研究班推計値を引用）



※MCI:軽度認知障害。記憶障害はあっても、認知症とは言えない状態。認知症の予備軍、または、前駆状態といわれる
 ※厚生労働省研究班の推計「都市部における認知症有病率と認知症生活機能障害への対応」(H25.5)を引用

MCI(軽度認知障害)を加えた認知症高齢者(予備軍を含む)は65歳以上高齢者の28%約17万人と推計

■乙訓地域における認知症高齢者の推計値

| | 向日市 | 長岡京市 | 大山崎町 | 乙訓地域 |
|------------------------|--------|--------|--------|---------|
| 人口(人) | 55,226 | 80,491 | 15,525 | 151,242 |
| 65歳以上高齢者数(人) | 14,641 | 20,667 | 4,298 | 39,606 |
| 高齢化率(%) | 26.5% | 25.7% | 27.7% | 26.2% |
| 認知症推計値【15%】(人) | 2,196 | 3,100 | 645 | 5,941 |
| MCI(軽度認知障害)推計値【13%】(人) | 1,903 | 2,687 | 559 | 5,149 |
| 認知症+MCI 推計値(人) | 4,099 | 5,787 | 1,204 | 11,090 |

住民基本台帳に基づく市町村からの報告数値(平成28年3月31日)

急性期病院等における認知症高齢者への対応力の向上

■ 病院医療従事者認知症対応力向上研修

【目的】

病院の医療従事者が、認知症患者や家族に対する初期支援に必要な幅広い対応スキルを身につけるとともに、医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの基礎知識について習得し、病院での認知症患者の手術や処置等の適切な実施を図る。

【実施主体】

京都府（京都府看護協会及び京都私立病院協会に委託）

【事業概要】

| 京都府看護協会実施 | 京都私立病院協会実施 |
|--|---|
| 基礎研修（5時間） | 集合研修（3時間） |
| 認知症サポートナース養成研修（7日間） →伝達研修等を実施するなど、急性期病院等において認知症対応力向上の推進役となる | 病院研修（90分×2回） →病院において多職種合同研修を実施することにより、病院ぐるみでの認知症対応力向上を図る |

↓
京都府知事名の修了証書交付



↓
京都府看護協会長名の修了証書交付

京都式オレンジプラン目標

認知症サポートナース制度の創設

○平成25～29年度 200人

→25～26年度 実績117人



当院の入院患者のうち、高齢者は約60%(母性・小児科を除く)、特に加齢の影響や複数の慢性疾患を併せて持つ後期高齢者が約40%を占めています。そのような高齢者が入院され、侵襲の大きい治療を受けられることは、我々が思う以上に心身への影響が強いです。そのため主疾患の治療だけでなく、入院に関連した心身の機能障害(例えばせん妄、嚥下障害、転倒、院内感染、筋力低下など)を最小限にし、速やかに元の生活に戻れるよう支援させていただきたいと思っております。



そこで当院では平成26年度よりスマイルカフェと称した院内デイケアを開始致しました。入院高齢者の心身のストレスを緩和すること、頭と体のリハビリだけでなく、こころを動かし笑顔を引き出すことを目指しています。またご家族にもくつろげる時間をつくり、日々の介護疲れを少しでも癒してもらえよう心掛けています。

当院では老人看護専門看護師と「**認知症サポートナース**」が中心となり、入院高齢者により良い心身の状態で退院していただく、その一助となるよう今後もスマイルカフェを開催していきたいと思っております。

ご入院の際には、是非スマイルカフェをご利用下さい。